

# 野菜畑作生産情報 第7号



平成27年10月20日  
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

- ◎適期収穫で良品生産に努めましょう！
- ◎小麦の排水対策を徹底しましょう！

## 畑作物

### 1 大豆

#### (1) 生育状況

成熟期は平年並から早く、収穫適期に達したほ場も見られる。

#### (2) 今後の留意点

<収穫適期の目安>

コンバインによる収穫適期は、茎水分50%以下（主茎の中央部を爪でこすったとき、表皮が乾いてむけない状態になった頃）、子実水分20%以下となった時期である。

<収 穫>

- ・ ほ場内の雑草や青立ち株は汚粒の原因となるので、収穫前に必ず抜き取る。
- ・ ほ場毎に成熟期を確認し、計画的に刈取りを行い、適期収穫に努める。
- ・ 収穫は、朝露による湿りがない時間帯（一般的には午前10時以降）に実施する。
- ・ 土の掻き込みによる汚粒の発生を防ぐため、地際部まで無理に刈取らない。

### 2 小麦

#### (1) 生育状況

は種後の生育は、概ね良好である。

#### (2) 今後の留意点

- ・ 湿害が出ないように、明きょを設けるなど排水対策を徹底する。
- ・ 耐倒伏性の向上や凍霜害の回避のため、10月下旬から11月中旬にローラー等で麦踏みを行う。ただし、粘土質土壌や転作田など排水の悪いほ場では、生育が阻害されるので行わない。
- ・ 紅色雪腐病・雪腐褐色小粒菌核病・褐色雪腐病の発生が懸念されるほ場では、11月中旬から下旬頃に薬剤散布する。

# 野 菜

## 1 ながいも

### (1) 生育状況

- ・ 五戸町、東北町の生育観測ほでは、いも長は平年を上回っているが、いも径はやや下回り、いも重は並となっている。
- ・ いもは細長い傾向であるが、こぶいもや平いもは少なく品質は良好である。
- ・ 10月上旬から茎葉の黄化が始まっている。
- ・ 一部に強風による茎葉の損傷が見られる。

表－1 ながいもの生育状況 (10月9日現在)

場 所	年次	植付期 (月日)	萌芽 揃期 (月日)	つるのネット 頂到達日 (月日)	茎葉重 (g)	いも長 (cm)	いも重 (g)	いも 最大径 (mm)
野菜研究所 (六戸町)	本年 (平年比)	5/25 (1日早)	6/25 (4日早)	— (—)	405.3 (96%)	69.6 (95%)	1,451 (106%)	68.4 (98%)
	平年	5/26	6/29	—	421.8	73.3	1,365	69.6
	前年	5/26	6/28	—	467.1	72.8	1,357	73.2
五戸町 上市川	本年 (平年比)	5/ 1 (14日早)	6/ 8 (10日早)	6/30 ( 8日早)	— (—)	94.0 (112%)	1,359 (103%)	61.7 (97%)
	平年	5/15	6/18	7/ 8	—	84.3	1,315	63.9
	前年	5/10	6/11	7/ 4	—	82.5	1,203	62.3
東北町 野田頭	本年 (平年比)	5/10 (8日早)	5/30 (14日早)	7/ 8 ( 5日早)	— (—)	77.0 (110%)	955 (98%)	53.3 (93%)
	平年	5/18	6/13	7/13	—	70.0	977	57.1
	前年	5/18	6/10	7/13	—	63.8	864	56.0

注) ①平 年：野菜研は平成19～26年の8か年の平均値。

五戸町は平成13～26年の14か年の平均値。

東北町は平成17～26年の10か年の平均値。

②種 子：野菜研は園試系6の2年子(100g)頂芽切除。

五戸町は庄司系の2年子切いも肩部分(120～150g)。

東北町は庄司系の1年子(60～80g)頂芽付。

③栽植様式：野菜研は畦幅120cm×株間24cm(3,472株/10a)。

五戸町は畦幅120cm×株間22cm(3,788株/10a)。

東北町は畦幅110cm×株間21cm(3,952株/10a)。

④東北町の萌芽揃期は萌芽期の値。

⑤五戸町の生育観測ほの追肥は、6月20日に1回目、7月5日に2回目、7月20日に3回目、8月8日に4回目が行われた。

※ 野菜研究所は全調査株が平いもであった。

## (2) 今後の留意点

### <収 穫>

- ・ 収穫は、茎葉が完全に黄変し、試し掘りでアクが発生しないことを確認してから開始する。
- ・ 雨天など過湿なほ場条件での掘取作業は、貯蔵中の腐敗を招くので行わない。
- ・ 掘取りに当たっては、表皮を傷つけたり直射日光や風に当てないように注意する。

### <茎葉・ネットの適正処理>

- ・ 茎葉の絡んだ「ながいもネット」は、堆肥化等により減量し、ネットと茎葉を分別した上で適正に処理する。

## 2 秋冬だいこん

### (1) 生育状況

- ・ 8月、9月の低温により遅れているが、病害虫の発生は少なく品質は良好である。

表-2 秋冬だいこんの生育状況（10月9日現在）

場 所	年次	は種期 (月日)	葉 長 (cm)	葉 数 (枚)	根 重 (g)
東 北 町 御 所	本年 (平年比)	8/ 9 (1日遅)	44.2 (102%)	19.2 ( 88%)	825 ( 84%)
	平年	8/ 8	43.4	21.7	984
	前年	8/12	32.4	14.7	557

注) ①平 年：平成13年～26年の14か年の平均値。

②品 種：夏の翼。前年も同じ。

③栽植様式：畦幅60cm×株間23cm、1条植え（7,246株/10a）。

### (2) 今後の留意点

- ・ ほ場毎の試し掘りで肥大状況を確認し適期に収穫する。

## 3 ねぎ

### (1) 生育状況

- ・ 8月中旬から下旬の低温・日照不足の影響で、細めの傾向である。

### (2) 今後の留意点

- ・ 生育状況を確認し、適期に収穫する。

## 4 冬のハウス栽培の留意点

- ・ 降雪、強風等に備えて、ビニールやマイカ線などの点検・補修を行う。
- ・ 二重被覆などにより保温効率を高めるとともに、暖房機の着火装置などの保守点検を行う。
- ・ ハウスからの放熱を防ぐため、被覆資材の破れやつなぎ目の隙間を確認して修復する。
- ・ 汚れが付着したフィルムは洗浄し、古い被覆フィルムは採光性が劣るので新品に替える。

- ・ ハウス内は、循環ファン等を設置して施設内の温度ムラを減らすとともに、時間帯に応じた細やかな管理ができる変温装置を活用したり、暖房機の温度を生育適温の下限に設定するなど燃料の節約に努める。
- ・ 厳寒期を避ける作型へ切り替えたり、加温を要しない作目や低温に強い品種の導入を図るなど燃料費の低減に努める。

施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル

([http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyō/nenyu\\_koutou/n\\_energy/pdf/manual.pdf](http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyō/nenyu_koutou/n_energy/pdf/manual.pdf))

施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート

([http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyō/nenyu\\_koutou/n\\_energy/pdf/check.pdf](http://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyō/nenyu_koutou/n_energy/pdf/check.pdf))

◎ハウス用ビニールやマルチなどの使用済プラスチック類は、市町村適正処理協議会や農協の回収システムなどを利用し、適正に処理しましょう。

◎日本一健康な土づくり強化月間（平成27年9月～11月）

安全・安心な農産物を安定して生産するためには、土づくりが重要です。堆肥の施用や土壌診断などにより、健康な土づくりに取り組みましょう。

◎秋の農作業安全運動展開中！（8月15日～10月31日）

- 1 高齢者の事故多発！農作業は、焦らず、急がず、慎重に！
- 2 ほ場への出入りや傾斜地は要注意！機械の転倒・転落を防ごう！
- 3 機械点検時にはエンジン停止！機械への巻き込まれに注意！
- 4 高所作業では、周囲の状況を確認し、身体の安定を保とう！

◎農薬は適正に使用しましょう。

- 1 農薬の飛散を防止する！
- 2 農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てない！
- 3 農薬を使用する場合には、必ず最新の農薬登録内容を確認！

農薬情報([http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n\\_info/](http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/))

農薬登録情報検索システム([http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm))

◎ほ場を見回るなど農作物の盗難防止に努めましょう。

---

連絡先	農産園芸課野菜・畑作物振興グループ
県庁内線	5079
直通	017-734-9481

---